

# 「気仙沼通信 VOL.1」

## 災害廃棄物処理事業（気仙沼ブロック（気仙沼処理区））

### ★事業の内容

本業務は平成二四年七月から着手し、平成二五年度中に廃棄物処理と二次仮置き場の原状復旧を完了する予定です。

一次仮置き場に集積されている災害廃棄物の一部を階上地区と小泉地区の二次仮置き場へ運搬し、これを選別、破碎、焼却などの中間処理を行います。

廃棄物は、全体のほとんどが再資源化されて再生利用が行われます。残りは県内の管理型最終処分場で埋立処分を行います。

工程	平成24年度												平成25年度											
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
盛土・造成																								
破砕・選別処理																								
焼却処理																								
津波増積土処理																								
災害廃棄物運搬																								
現状復旧																								
盛土・造成																								
破砕・選別処理																								
焼却処理																								
津波増積土処理																								
災害廃棄物運搬																								
現状復旧																								

本事業のスケジュール



階上地区の処理施設イメージ

階上地区の二次仮置き場では、向洋高校の敷地周辺に破砕・選別施設と焼却施設を設置します。これらの処理施設までの廃棄物運搬路と生活道路（岩井崎までの通行路）を立体交差にして分離することで、生活環境と観光資源を保全します。



小泉地区の処理施設イメージ

平成 24 年  
11 月 1 日



海の子 ホヤぼーや



むすび丸



発行人：大成・間・五洋・東急・西武・安藤・深松・丸か・小野良・阿部伊特定  
業務共同企業体  
担当 松田 成貴  
電話：0226(31)5630

### ★環境への配慮

二次仮置き場に設置する破砕・選別施設や焼却施設が周辺環境に及ぼす影響が小さくなるようにするため、事前に騒音と振動についての予測を行って防音壁や施設配置の計画をしたり、焼却施設の煙突から排出される排ガスの拡散を予測して煙突の高さや構造などを決定しています。このような事前検討を行った結果が妥当であったか、また、施設の稼働に伴って発生する各種の影響が法令等で定められている基準を超えていないことを確認するために、定期的に、法令等で定められた方法で測定を行うとともに、自主的に環境測定を行うことでより厳格な施設の運営・管理を行います。

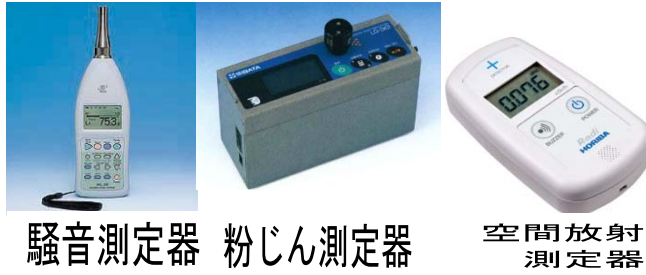
なお、これらの測定結果は随時気仙沼市の広報誌や私ども特定業務共同企業体のホームページを通じて公開します。

### ★地区連絡会の開催

気仙沼市の災害廃棄物処理事業に係る「地区連絡会」を開催し、業務の進捗状況、安全衛生管理、環境対策、交通安全対策、防犯対策、地元企業活用等について地域の関係者の皆様からご意見・ご要望をいただき、協議・調整する場を設けています。

# ★安全見守り隊の活動

本業務が安全、安心に運営されていることを確認するために、「安全見守り隊」を結成し、地域の方々に参加して頂いております。騒音・粉じん・空間放射線量について、地域の皆様が自ら測定器を使用して、測定結果を確認し、周辺環境を企業体と一緒に見守っていただくことで、事業を推進していきます。



騒音測定器 粉じん測定器

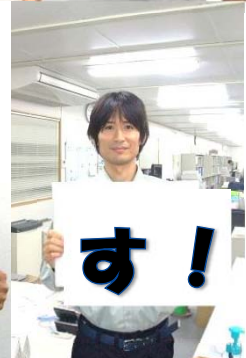
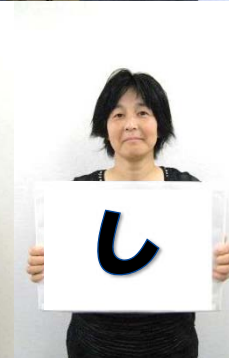
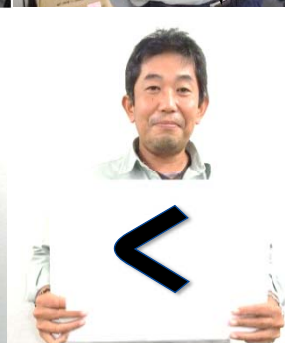
空間放射線測定器

測定に使用する器具



# ★J/Vスタッフの紹介

当J/Vのスタッフです。次号以降も順次ご紹介していきますので、よろしくお願ひします



委託者…気仙沼市  
 受託者…宮城県  
 受託事業者…大成・間・五洋・東急・西武・安藤・深松・丸か・小野良・阿部伊特定業務共同企業体

## ● 編集後記 ●

最後までお読み頂きましてありがとうございます。私事ではありますが、会社の転勤でこの度今回の業務でお世話になる事になりました。最初は不慣れな為戸惑うこともありましたが、地域の皆様の優しさに触れるうちに、気仙沼が大好きになりました。事業はこれから本格化し、ますます忙しくなりますが、気仙沼の皆様にも少しくお役に立てればとの思いで、日々業務に励んでおります。これからも、所員一同頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

松田成貴